

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
<b>治風剂 平熄内風剂 7</b>		
<p>ちょうとうきん 釣藤散</p>	平肝熄風・清熱化痰・益気	<p>釣藤鈎・陳皮・半夏・麦門冬・茯苓・茯神・人參・菊花・防風各 15g ・ 甘草 0.3g ・石膏 30g 細末にし 1回 12g を生姜と水煎し服用する。</p>
普濟本事方	<p>主治は、肝厥の頭痛、めまいなど。 平肝熄風の釣藤鈎・菊花・防風と、益気健脾、化痰の陳皮・半夏・人參・茯苓・甘草の配合から、脾虚による痰濁が肝風とともに上逆する「風痰上擾」の頭痛、めまいに適していることが分かる。石膏の配合は上焦の熱を清する目的であり、のぼせ、目の充血、胸中の熱感などを伴う。茯神は安神に働く。 日本では、本方（釣藤散）の使用目標として「朝の頭痛」を挙げているが、気虚関連の症状と考えられる。 気虚を基本にした風痰上擾兼熱証に用いる。</p> <p>日本での保険適応効能、効果 慢性の続く頭痛で中年以降、または高血圧の傾向のあるもの</p>	